

第127回定期大会

日時：5月20日(日)9時30分
会場：ベルヴィ郡山館

来年の2019年3月31日時点で75歳以上の組合員さんへは、定期大会、懇親会へご招待致します。別途通知致します。

発行所

全建総連郡山建設組合
〒963-8878
福島県郡山市堤下町9-13
TEL (024) 922-8051
FAX (024) 938-4155

発行責任者

(教宣部) 青木 栄一
遠藤 國雄

つぼいと

Kooriyama kensetukumiai

TUBOITO

2018 (平成30) 年
5月1日(火)

第468号

大手企業交渉 労働環境の改善求め 対応は冷ややか：課題残る

全建総連福島、県南ブロック協議会では4月5日大手企業交渉を実施しました。加盟8組合中5組合の代表者8人と県連合会のブロック担当書記(内海翔太書記)が参加しました。

交渉先は、日本ハウスホールディングス、住友林業、石井工務店、ウエルズホーム、タマホーム、パナホーム、大和ハウス工業の7社です。訪問では、要請項目を6つにし、挨拶文と合わせて各企業先で手渡しによる要請でした。

・継続と、若年者の入職促進・定着に欠かせない法定福利費を下請事業主と建設労働者に支給して下さい。
③適正な工期設定を推進し、週休2日の実施に必要な経費を的確に計上し、長時間労働の是正や安全確保を進めて下さい。
④技能や経験に見合った適正な賃金水準や公契約法・条例について真摯に検

討して下さい。
⑤公共工事・民間工事の区別なく現場労働者・職人全員に建退共証紙を貼付して下さい。
⑥建設業における雇用保険料率の引き上げによる財源で、担い手確保育成に向けた助成措置を拡充することに賛同して下さい。
どの要請先でも、先に連絡を取り時間まで約束して訪問したにも関わらず、担当者留守との冷たい対応でした。

書記長 磯部義孝



道具(ミノ)の手入れをする訓練生

今年も訓練生男女合わせて18人の若い職人の卵が生まれました。建築科5人、板金4人、左官4人、塗装科5人で、訓練校での訓練期間は3年間となります。

訓練校で授業開始

今年も訓練生男女合わせて18人の若い職人の卵が生まれました。建築科5人、板金4人、左官4人、塗装科5人で、訓練校での訓練期間は3年間となります。それぞれ4科の指導員が総力を合わせて全員が合格できるように指導を行っていきます。

行っています。ここ数年間は女性の職人も増えてきたことよって若い女性訓練生も数人います。今や男女の区別なく職人になる方がいますので世の男性たちも頑張る覚悟ないと負けてしまいそうです。男女区別なく指導を行っていきましょう。

尚、今年度は主婦の会の役員改選があり新役員として新たに2人の仲間が増えましたのでご報告させていただきます。

また、2年間組合を支え、楽しく活動し交流を深めていきたいです。皆様のご協力の程どうぞよろしくお願いたします。

・事務局長 白石美代子
・幹事 飛田美恵子
・幹事 七海美恵子
・会計 蛭田るみ子
・監査 遠藤よし
・監査 ①渡辺スミエ
事務局長 白石美代子



新たに仲間が加わり活動する

主婦の会総会 新役員も加わり 活発に

平成30年4月27日(金)梅の花にて主婦の会総会を開催しました。参加者は役員含め13人となり、平成29年度経過報告から始まり平成30年度運動方針まで全てが採択されました。

最後の編集にあたって

平成28年度教宣部

教宣部長 青木栄一

機関紙とは何か、組合員に新しい情報を的確に伝える役目を果たす役割、それが機関紙だと確信をもって編集に当たってきました。

28年5月号から「機関紙つぼい」との編集を7人の部員さんと共に原稿を持ち寄り編集に当たりました。

その間にも、多くの取材活動や学習会の参加と、仕事と、教宣活動との間での悩み等思い出に残ります。

今まで多くの記事の投稿を戴きました組合員さんに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

副部長 遠藤國雄
機関紙つぼいとは、毎月

発行してはいますが、皆様読んで頂けていますか。

毎月の編集会議は、役に立つ情報はどんなことか、読んで頂ける内容にしよう、毎回悩んだのが正直なところですよ。

特にシリーズ「私の修行時代」の企画編集担当者として、お一人お一人に短い文章では表現しきれない、大変な時代を乗り越えられて、職人さんになられたことを想いました。

私の好きな四字熟語に、「一期一会」(いちいちえ)という言葉があります、その機会は2度と繰り返されることのない、一生に一度の出会いであるという心を得て、ともに互いに誠意を尽くす心構えを意味します。



毎月悩むが編集会議は楽しく進む

教宣部員として、この言葉のように出来たのか自問自答しているところです。

この2年間「つぼい」に寄稿頂いた皆様、本当に有難うございました。

以下、部員(支部長)※敬称略
大野佐太美(2支部)河野孝一(4支部)高井誠一(10支部)柳沼良三(18支部)野地勇一(21支部)大野武志(27支部)

私の修業時代 第13回

「大工を志して」

2支部 渡辺春雄さん (大工・68歳)



ふる里を離れ大工を志して半世紀が過ぎ、走馬燈のように頭をよぎるのは、まだ子供だった私が郡山の親方の家に住込みで弟子入りした時のことです。

兄弟子、兄弟弟子と寝起きを共にし、切磋琢磨し建築の一からの勉強と実践で、道具の手入れ使い方、柱の墨付け、刻み、カンナかけ、先輩のやっているのは簡単なようだが、自分がやると思うように行かない事ばかりで苦労しました。

親方の好意で職業訓練校に入学させて頂き、昼は現

場、夜は訓練校で勉強させてもらいました。

だんだん職人と呼ばれようになり、一軒家を墨付けから刻みまで任せられ、上棟した時はとても感激したことを鮮明に覚えています。

その後、私の元にも内弟子たちが来ましたが、今では私以上の職人になり嬉しい限りです。

平成3年に会社設立し、現在は息子と共に同僚の支えと皆様のお力添えを頂きながら、これからも大工として誠意を持って頑張っていきたいと思っています。

叔父への憧れから 大工に

第25支部 羽賀 司

私が大工を志したのは中学生の時です。その時は「私が継がないと、祖父と母、叔父と繋いできた会社を終わらせてしまう」と言う義務にも似た責任感から大工の道を選びました。

高校へ進学し通学が楽と言う理由で実家を離れ祖父、叔父と暮らし始め、日々の仕事の話や手伝いを重ね



(有)青木栄一建築に勤める羽賀さん

るうち「継がなければならぬ」と言う気持ちから「継ぎたい」と言う思いが強くなっていました。

叔父は酒で酔うと、どんな状況から会社を設立し何を思い、どうすればお客様が満足し笑顔になってくれるか、訴えるように、俺に話してくれました。

普段が無口な分、この想いがどれ程心に根付いているのか痛感しました。

そんな叔父への憧れから、私も周りから信頼される様な大工になりたいと思うようになりまし。同時に組立屋と称されないような技術を磨き、それを後世へと伝えて行きたいと思いました。4月からは口ばかりだと言われない様に根性を見せて働いて行こうと思います。

建築豆知識

「オール電化って?」

CO2はオゾン層を破壊すると言う事で、灯油やガス器具を使わず熱源をすべて電気にした住宅です。

高齢化をむかえる社会的背景の中で、火災発生の危険性が少ないため安全性が認知され普及が飛躍的に進んでいます。

講習等のお知らせ

- ▼高所作業車運転技能講習
日程 6月4〜5日
会場 郡山建設会館
受講料 39,860円
- ▼アーク溶接業務特別教育
日程 6月5〜6日
会場 郡山労働基準協会
受講料 11,880円
- ▼有機溶剤作業主任者技能講習
日程 6月7〜8日
会場 郡山労働基準協会
受講料 11,664円

4月末在籍組合員数
1131人
前月比 +10

- ◎新しい仲間(4月加入)
- | | | |
|-------|-------|-------|
| 氏名 | 和徳 昌孝 | 大堀 昌孝 |
| 有我 浩二 | 鈴木 誠 | |
| 安部 育央 | 山邊 雄市 | |
| 大槻 隼哉 | 吉田三四郎 | |
| 上杉 勝 | 吉田三四郎 | |
| 上杉 公輝 | 吉田三四郎 | |
| 奥村 秀明 | 下枝 清 | |
| 下枝 秀明 | 下枝 清 | |
| 倉本 有一 | 大堀 昌孝 | |
| 吉成 保 | 吉成 勝彦 | |
| 田崎 至貴 | 渡邊 大 | |
| 坪井 沢斗 | 渡邊 大 | |
| 錦 君夫 | 渡邊 大 | |
| 本田 啓斗 | 渡邊 大 | |
| 橋本 雅彦 | 橋本 實 | |
| 羽賀 真也 | 青木 栄一 | |
| 三輪 真也 | 吉田 勝浩 | |

- ▼小型移動式クレーン運転技能講習
日程 6月11〜12日
実6月13か14日
会場 ポイラクレーン福島
受講料 31,890円
- ▼玉掛技能講習
日程 6月12〜14日
会場 郡山労働基準協会
受講料 23,250円
- ▼ガス溶接技能講習
日程 6月26〜27日
会場 郡山労働基準協会
受講料 11,664円
- ▼低圧電気取扱業務特別教育
日程 6月29日
会場 郡山労働基準協会
受講料 8,262円